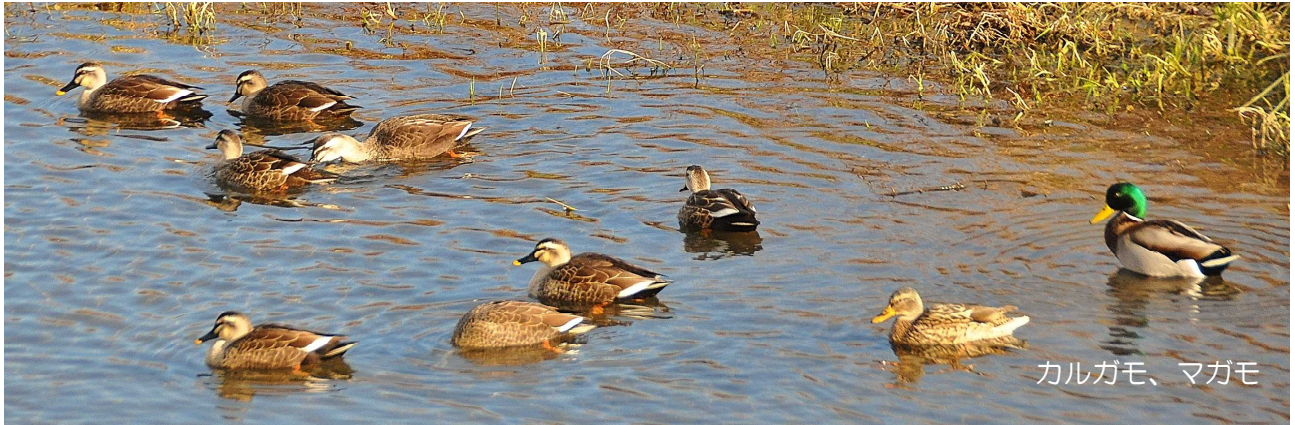


# 野鳥の楽園・秋山川



カルガモ、マガモ



セグロセキレイ

2011年12月29日、「日本野鳥の会」足利分会長の広田さんとともに、**バードウォッチング**を楽しんだ。場所は、佐高から歩いて5分でいける秋山川である。この時期、秋山川は水量が少ない。一見すると、カモなどの水鳥が暮らすにはあまり適していないという感じだ。

河原に下りると、まず目に入ったのは**セグロセキレイ**。黒と白のコントラストが目印で、水辺の周辺を慌ただしく飛び回っている。続いて、スズメを一回り大きくしたようなイカルチドリ、くちばしの長いイソシギ、キセキレイなどを発見。空を見上げると**アオサギ**が飛んでいる。河原でよく見かける定番の野鳥だ。(まあこんなところかな。)



アオサギ

しかし、木々の茂みに隠れて見えなかった菊沢川と秋山川の合流地点では、川の様子が一変していた。水量が豊富で、川底には水草が茂っている。そして、**数十羽の水鳥**たちの姿があった。マガモ、カルガモ、コガモに加え、珍しい**バン**や**オオバン**もいる。

「これだけの水鳥が見られるところは佐野でもあまりないですね。」日本野鳥の会の広田さんも意外な穴場の発見に興奮気味である。



オオバン

この日、秋山川の周辺で**20種類**以上の野鳥を確認した。校歌にも歌われる「澄める水ゆく秋山川原」。ここは野鳥の楽園であると同時に、カモなどの渡り鳥を通して、世界ともつながっているのである。

PS：数理探究(中2)では、新たに購入したフィールドスコープ10台を使って、「秋山川の野鳥観察入門」を行う予定。

